

平成 21 年 3 月 13 日

報道機関 各位

東北大学大学院理学研究科

大学院理学研究科 RI 排水設備の配管からの放射性同位元素の
漏えいについて

平成 21 年 3 月 5 日木曜日、排水ポンプの自主検査において、排水設備の配管から管理区域外への漏水の疑いがあることが分かりました。その後の調査で、これは単純なバルブ開閉の誤操作であったことが判明しました。しかし、調査の一環として土中配管を掘り出し、鉛管と塩化ビニル管とのつなぎ目を補強しているモルタルを剥がしたところ、鉛管と塩化ビニル管の間にすき間があることが分かりました。そこで、配管の周りの土壌を調べたところ、わずかな汚染が確認されたため、3 月 9 日月曜日、文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室へ、この旨報告しました。なお、現在、汚染された土壌の回収を進めています。

つなぎ目近傍の土壌の放射性同位体の検出濃度は、測定の結果、最大で 0.33 ± 0.08 Bq/g (乾燥試料, Eu-152) であり、規制濃度 (10 Bq/g) と比べても、十分小さく、人および外部への影響はありません。

(注) Eu-152 : ユーロピウム-152 と呼ばれる人工の放射性同位体。半減期は、約 13 年。

このことについて、下記のとおり説明をいたしますので、ご案内いたします。

記

1. 日 時 平成 21 年 3 月 13 日 (金) 17 時 30 分から
2. 場 所 東北大学大学院理学研究科 総合棟 2 階 203 講義室
(仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3)
3. 受 付 東北大学大学院理学研究科 総合棟 1 階ロビー
4. 説明者 総務企画担当副研究科長 今泉俊文 教授
安全衛生管理室副室長 木野康志 准教授

連絡先／問い合わせ先
大学院理学研究科 事務部 庶務係
電話 : 022-795-6346